

リビング  
医療セミナー

肺がん

2月24日(土)「肺がん医療・疾患啓発のための市民公開講座」。肺がん治療の“いま”をわかりやすく解説します

# 知ってほしい“肺がん”のこと～肺がん治療における集学的治療とチーム医療～

共催／熊本リビング新聞社 第58回日本肺癌学会九州支部学術集会 第41回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会 中外製薬  
後援／リレー・フォーライフ・ジャパン くまもと

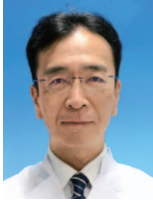
熊本地域医療センター  
呼吸器内科 内科部長  
座長／千場博先生



全体主旨

鈴木 実先生

熊本大学医学部附属病院  
呼吸器外科 教授



外科療法

佐伯 祥先生

熊本大学医学部附属病院  
呼吸器内科 助教



薬物療法

河中 功一先生

熊本大学医学部附属病院  
画像診断科 助教



放射線治療

熊本大学医学部附属病院  
外来化学療法センター 薬剤師  
大山 高廣先生



副作用対策

第1部 6つの演題(各10分)のリレー形式

## 『肺がん治療における集学的治療とチーム医療』

NPO法人WJOGの活動報告 / 休憩

第2部 肺がん治療Q & A (約40分)

残念ながら今後も増加が見込まれる「肺がん」。その主な理由は、喫煙率と高齢化社会だと言われています。肺は「鈍感な臓器」ともたとえられ、肺がんは早期ではほぼ無症状なことも多いそう。肺がん治療は、手術、放射線治療、化学療法が三本柱となります。近年では、単一の治療では病気をコントロールできない

放射線治療、化学療法を組み合わせる「集学的治療」が行われるのが一般的です。それぞれの治療をそれぞれ専門の医師が行うので、そのぶん横のつながりや連携が重要となっています。今回のセミナーでは、肺がんの最新治療と集学的治療、チーム医療について、熊本で活躍

2016年の統計では、肺がんの罹患数は13万人を超え、部位別がん死亡数では男性が1位、女性が2位に。今回のリビング医療セミナーでは、肺がんの最新治療法について紹介します。手術や放射線治療、抗がん剤…2つ以上を組み合わせる「集学的治療」

### 第2部では、肺がんや肺がん治療に関する質疑応答も

□喫煙歴のない母が肺がんになりました。私も遺伝するのでは…と心配です

□肺がんの緩和ケアとは、どんな治療法ですか？

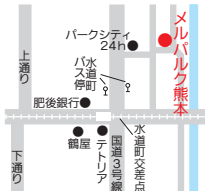
セミナーで質問してみたいことがある人は、参加申し込み時に伝えてください。

※個別相談ではありません

開催日時／ 2月24日(土)  
14:00～16:00  
(受付開始13:30～)

会場／メルパルク熊本  
(中央区水道町14-1)

※駐車場(有料)は限りがあるので、公共交通機関を利用してください



申し込みは電話で  
熊本リビング新聞社へ  
☎096(359)3311

月～金 9:30～18:30、土曜～12:00、日祝休  
代表者の①〒住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号  
⑤参加人数 ⑥質問がある場合は内容を伝えてください

※定員になり次第締切。後日案内状を送付します  
※個人情報は案内状送付とセミナー運営のみに使用します  
※スケジュールの一部が変更になる場合があります



WEB申込み  
はこちら

NPO法人西日本がん研究機構  
(WJOG)の活動についても報告されます

WJOGは、がん患者を対象とした臨床試験を通してよりよい癌診療の実現を目指す医師・研究者が主体となった民間の組織です。同機構の澤祥幸先生より、具体的な活動内容を教えていただきます